









**新道中記**  
東海乃板  
木勇記

鳴海 百一又三又九又 百一又三又九又	文 百五又 百五又	柴 百七又 百七又	賢 百七又 百七又	齋 百八又 百八又	尾山 百八又 百八又	関 百八又 百八又	塚 百八又 百八又	山 百八又 百八又	水口 百八又 百八又	徳 百八又 百八又	大津 百八又 百八又	天明己丑七月八日別増ヲ加フ 本馬九十八百八十八又 御雇六十八百八十八又 人足四百九百六十三又			
園原 七又五又 四又五又	今次 八又五又 五又五又	柏原 六又五又 五又五又	磯井 七又五又 五又五又	高井 六又五又 五又五又	七日 七又五又 五又五又	武佐 百一又 百一又	守山 百一又 百一又	大津 百一又 百一又	宗 百一又 百一又	同本馬 行程合 百廿五里土丁 天明己丑年 二割増ヲ加フ 己七月八日			本馬 七費八百十九又	御雇 又費百八十三又	人足 三費九百二十又

上ノ新道中記  
兼諸國道中記  
泉河内路社御園  
津定石物書目  
諸國道中記

一人足候ハ本新道  
中記ノ如ク虎ノ本  
新道中記ノ如ク  
三ツ小割長二ツ  
力チカク坂川石  
道ハ妙御記

一 本新道中記  
一 本新道中記  
一 カノ尾 三ツ小割  
一 本新道中記  
一 本新道中記

東海道五十三次

日本橋より二里  
品川へ

かたちん 九十日又  
うしろ尻 六十一文  
人 足 四十七文

大橋より南橋まで

日本橋より廿三  
右の方津城の  
左のこらば足  
足あり橋は二  
中橋より廿一月

橋より廿一月  
十二日。新橋系  
八下石小  
ごりあり。源  
空由川橋  
早下足も三  
神乃乃文あり

本宿路六十九次

日本橋より二里  
板橋へ

のりあり 九十日又  
うしろ尻 六十一文  
附あり 東海

○日本橋より  
津城のこらば  
橋より二十  
所あり品川  
り。宝所二十  
十日なる。白  
今川橋より廿  
四のり相所  
る所新所  
所通りと出  
とらあり。津

是を日本橋  
○度小海丸  
西雲あり。以  
湯橋の天神  
あり。たり  
久乃之坂と  
以神田明神  
は下ゆ橋又  
湯橋より二十  
りたり。再  
寺あり。本  
○森川橋。退  
ゆけ。約。巴  
無。岩。漸。乃  
乃。たり。板  
送たり。竹  
りてたり。板  
小。白。山。橋  
。右。の。方。は  
深井。も。宿  
も。あり。竹  
不。行。て。あり

と号す。昔毎年國  
の祖祝とて社文  
小島國の祝  
あり。の。最。る。取。り。飯  
念と。り。と。三。縁。山  
増上寺後小松院  
園。墓。上。人。乃。園。墓。に  
淨土宗十八檀林  
寺あり。今板橋  
川橋より二十  
今板橋より二十  
てあり。と。引。其。さ。り。な  
是。を。と。る。元。礼。乃。過  
は。不。之。田。所。の。位。所。り。之  
あ。是。を。月。か。橋。分。一。里  
右。の。方。に。八。幡。堂。あり  
こと。ある。の。法。な。が。守  
本。宿。と。と。云。○田。所。九。所  
是。を。半。所。今。の。東。所  
と。云。を。れ。が。品。川。より

と云をれが品川より

序所したる人海を  
何こくらごとく  
えんれよとあり  
以家怒寺曹洞宗  
江戸三ヶ寺とあり  
淺野内匠家所十  
六人乃暮立。如某  
大住と行と云人は  
堂。つり。太子堂  
くうあん堂も有。海  
上稲林と願うけ  
寺有。東福寺といふ  
妙公流の江戸三ヶ  
寺。は名もなきと云  
やつの。新所不川  
乃の。たりたり  
王の。小社有。は浦  
浦と云。宗後法師  
やうの。より。り  
煙名あ。ど。ら。み

鴨所たふぢぢり  
是江戸入はく小  
六地蔵。さ。ま  
ゆく。板橋とた  
知。たふ道。有。是  
岩。赤坂。色。一。小  
迎。く。は。さ。う。一。ぐ  
ご。く。ド。観。音。の  
ろ。と。板。橋。の。ち  
ゆく。たふ一里。は  
の。平。尾。と。云。の  
け。つ。つ。さ。く。は。入  
たふ川。と。あり。あり  
ち。坂。も。ひ。かり

### 品川 二重

品川 二重  
百中又同や  
七十又  
人六十又  
下中又同や  
七十又  
東海寺あり  
品川寺あり  
貴之。所國寺。海島  
ちりみぢの島あり  
さか。洲。寺。は。屋。場。  
強乃。森。八。日。人。文。是  
所。不。預。名。と。云。有。り  
は。名。は。比。上。本。門。吉。見  
也。の。八。日。村。大。森  
和。甲。お。う。り。家。あり  
之。地。名。の。い。り。也。夫  
神。天。神。水。か。き。南  
く。田。と。と。う。あ。り。所

て。小。坂。の。を。と。浜。村  
あり。沢。村。清。あり  
戸田の。と。一。村  
川。水。場。小。の。志。村。を  
川。ゆ。ら。さ。て。舟。も。乃  
む。ず。ゆ。た。へ。入。り。岩  
淵。子。住。人。也。り。け  
み。板。橋。一。と。一。里。余  
入。間。川。戸。田。ひ  
え。わ。ら。ひ。村。ふ。は。と  
け。一。路。系。乃。あり

板橋より一里八丁  
浦玉へ  
本五十三又  
くら世六又  
ら。び。子。村。白。と。さ  
村。は。村。は。小。坂。を  
岩。村。は。東。左。の。方。に  
本。林。が。は。う。ら。小。淵。の  
宮。と。云。社。あり



右乃みまうう湯が  
つらちりかきのか  
きあり

う、白川が二里九丁  
程がや

新所大云  
本平入久岡や  
う、三十九友友の  
人、水入、源の

か、びる岩の所がれ  
海、うまを、乃、小態  
乃、乃、乃、乃、乃、乃

小家の、う、う、小  
つ、つ、つ、つ、つ、つ

越、紅、三、年、六、月、源、の  
親、家、あ、つ、つ、の、い、い、い

い、是、わ、さ、あ、大、や、ら、の  
か、う、海、と、也、遊、か

大、い、く、の、乃、こ、た、う、い  
う、あ、う、う、つ、ゆ、遠、を

○、あ、ま、い、う、う、や  
種、名、も、二、里、九、丁

本、百、八、文、岡、や  
う、あ、う、九、文、信、々、人

下、り、百、八、文、う、う、九、文  
○、是、を、坂、乃、こ、本、や、村

あ、く、八、極、文、河、家、ち、ち、ち  
○、か、れ、り、ら、坂、○、あ、な、の

坂、あ、く、あ、あ、あ、軍、乃  
ち、あ、あ、の、親、も、あ、あ、あ

ひ、あ、あ、あ、う、う、う、の  
さ、う、い、こ、う、由、田、の  
け、び、あ、あ、あ、あ、あ、あ

九、二、河、乃、の、社、あり  
○、こ、こ、村、親、者、あ、あ、あ

○、本、村、○、い、い、村、○、所、屋  
村、○、南、村、○、あ、く、あ、村

九、二、河、乃、の、社、あり  
林、あ、あ、あ、あ、あ、あ

○、あ、の、の、海、あ、あ、あ  
云、守、あ、あ、あ、あ、あ、あ

あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ  
乃、田、○、え、う、う、あ、あ、あ

乃、天、神、文、乃、あ、あ、あ  
あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ

た、の、あ、あ、あ、あ、あ、あ  
村、○、さ、さ、い、い、二、里、○、あ

出、雲、○、海、田、の、ま、あ、あ、あ  
田、村、○、あ、あ、あ、村

海、原、も、二、里、九、丁  
う、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ

本、百、八、文、岡、や  
う、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ

○、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ  
い、い、い、い、い、い、い、い、い

乃、源、源、の、経、経、村  
う、う、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ

源、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ  
○、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ

村、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ  
村、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ、あ



中野所たりの田の中  
くぬくくへりたあり  
痛むるを三里は道の  
かんとんを二丁半

中野方 二里  
後以へ

本八十丁又同や  
くふすく久高  
人八十又 ちたあ

下川八十又又又十又  
八丁所をいし伊の  
ま方。松山の申小附

宗寺あり。大坂。白土  
坂茶屋あり。京右向  
むられよりぬくも

たまわくは城あり  
ゆり玉うすい若丸島  
りの毛が伝取。秋

吉野あり。うけとり。  
うらみ。たどやう坂

まけりらふく一  
ぬく方代に今  
ゆりえんぬくの里

ゆらひが 三里半  
平塚へ

本百三十二  
くろふ又 七丁  
人七十八又 孫左の

下川百三十二又百又  
者の地へのぬくく切  
透り光を三丁の

ゆり九丁おの地  
ゆりあり毛廿十ある  
小坂沢山清津堂

とて町家の惣ちち  
高尾の徳寺とある  
ゆり上人のゆり小坂

の四多のゆり人ぬの  
づりのる場をさう  
たりのゆりの後あり

へり乃あり。ちよふ  
王の相方あり  
ちよ乃上代あり  
ちよ下いぬまあり

たふあり川  
久下毛徳寺のゆり  
かむむく下乃ゆり

るせうが伝あり  
。岩城ゆりゆり  
とて徳寺あり徳寺

本三丁あり。戸田八丁  
村。ちよんえむ

徳寺あり 二里半  
ありやへ九丁  
本百三十二 同や

くろふ又 平あり  
。おの入り。秋又川  
あり。ちよゆり乃ま

あり。おのゆり一丁城  
阿波豊後ちよゆり

ゆりゆり乃地あり  
あくととと浄土  
ありゆり又十石

実田基ゆりゆり  
まゆりゆりゆり

るてとゆりゆり  
又余珠ゆりゆり  
ゆりゆりゆり

ゆりゆりゆり  
ゆりゆりゆり  
ゆりゆりゆり

ゆりゆりゆり  
ゆりゆりゆり  
ゆりゆりゆり

ゆりゆりゆり  
ゆりゆりゆり  
ゆりゆりゆり

ゆりゆりゆり  
ゆりゆりゆり  
ゆりゆりゆり

○引ぢのりう。白ツヤ  
 茶やあちよちよの  
 乃ありたの方ふの  
 傳りゆり。ふつこち  
 う湯。十字坂。多妙  
 ○さうが所とてみんを  
 あり。たんがう。よき茶  
 庭あり。さへ入あう。一  
 武家乃外あちん又  
 出るは川。はぐく川。こ  
 水上甲斐のさへ橋  
 台流り。さき橋。は  
 がふある。りさて。突  
 物。の比より。橋。くら  
 と。い。あ。う。う。う。う  
 お。お。白。け。て。村。と。あ  
 若。う。う。う。う。う。う  
 う。ん。ぢ。う。い。あ。い。有  
 と。物。金。を。さ。り。し。ふ。家  
 ち。が。有。と。う。う。う。う。う

源若。二里  
 本。七。十。八。文。四。や  
 う。七。十。八。文。万。ち。う  
 ○おのね村。う。や。む。村  
 ○尾形村。あ。の。内。の。内  
 余。あ。尾。形。の。六。分。を  
 忠。流。が。出。て。あ。の。方  
 小。老。さ。う。が。が。い。寺  
 源。正。院。と。い。う。教。寺。が  
 宿。乃。外。と。い。う。寺。が  
 其。西。あ。八。九。町。の  
 里。の。い。は。あ。あ。の。田  
 田。里。で。う。田。三。り。半  
 下。り。坂。あ。ち。う。ぢ。ぢ  
 有。小。山。川。等。の。あ  
 細。く。う。ら。後。り。の。あ。橋  
 小。い。後。り。の。あ。橋  
 村。り。く。さ。い。村。た。い。は  
 中。ん。文。有。傍。尔。登

と。三。つ。の。首。級。乃。あ。ふ  
 は。あ。ぢ。い。あ。り。し。と  
 よ。う。つ。ね。の。首。級。を  
 考。え。あ。う。と。さ。大。領。様  
 と。あ。が。め。な。り。毎。々  
 が。有。り。塚。あ。つ。さ。あ。れ  
 一。と。て。今。う。う。塚。あ  
 白。く。この。社。は。今。の  
 う。この。社。と。い。ふ。ハ  
 播。磨。の。中。ん。乃。文。あ  
 は。あ。が。大。山。へ。あ。い  
 道。より。本。多。妙。の  
 う。道。が。え。へ。あ。り

村。い。あ。武。別。と。上。別。の  
 西。の。い。は。う。い。う。い  
 又。堂。殿。と。い。う。り  
 火。あ。う。う。と。名  
 行。と。い。う。地。た。う。さ  
 了。け。は。う。う。と。い  
 ○右。の。方。に。あ。る。は。さ。の  
 前。橋。六。り。五。科  
 法。園。所。へ。式。り。入。科  
 よ。う。い。は。う。へ。あ。り  
 こ。い。う。乃。法。田。も  
 修。香。保。つ。も。り。也  
 い。道。今。日。光。れ。中。禅  
 寺。上。別。あ。う。さ。山。様  
 名。山。伝。別。あ。る。あ。る  
 又。ゆ。り

大。様。へ。七。七。丁  
 本。三。十。八。文。四。や  
 多。廿。三。文。あ。ち。ん  
 人。十。八。文。源。ち。う  
 下。り。本。世。文。う。オ。二。文  
 ○所。を。う。さ。小。から。い

本。店。が。二。里  
 本。七。十。八。文。四。や  
 他。ち。ん  
 う。う。さ。文。知。ち。う



○ちゆくち唐がらと  
 云る。小松は、  
 ○切通し大ぢぢぢぢ  
 へ一踏ぢぢぢぢ  
 とそ切さむ乃ゆ  
 ○ゆりら。玉有  
 ○新着さうさ  
 ○塩ん松長廿十  
 ○東梅以。入口小坂  
 有松長廿十二  
 ささ、若きち  
 浜と松者。阿  
 明林松。梅さ  
 とき茶やあ  
 も有。押切入  
 松長廿廿二  
 小松。所の  
 有松十九。色  
 右の才十所  
 勇我計里

○高川松の  
 ちゆくちの  
 若より一里  
 けら色より  
 城を海井  
 分。右の方  
 乃宿毎  
 後松葉 源等  
 あがら乃  
 海松り  
 あい  
 は不ひ  
 いさ  
 蛤の貝つ  
 りりひ  
 右大  
 けら  
 右とひ  
 い。右  
 八

○ちゆくち唐がらと  
 云る。小松は、  
 ○切通し大ぢぢぢぢ  
 へ一踏ぢぢぢぢ  
 とそ切さむ乃ゆ  
 ○ゆりら。玉有  
 ○新着さうさ  
 ○塩ん松長廿十  
 ○東梅以。入口小坂  
 有松長廿十二  
 ささ、若きち  
 浜と松者。阿  
 明林松。梅さ  
 とき茶やあ  
 も有。押切入  
 松長廿廿二  
 小松。所の  
 有松十九。色  
 右の才十所  
 勇我計里

**板**  
 白  
 世田  
 ○右の  
 約  
 言  
 本  
 景  
 中  
 二  
 松  
 九  
 六  
 宿  
 板  
 右  
 八

おつづつちの里  
箱根へ八町

中四百廿八文 同や  
二三百八十五文 御坊  
人二百十八文 二町前

下り中四百九十二百廿五

○石の方のりく小田原

跡の河乃らん西の西  
乃田ふもと久松を

町よりある城あり  
城主大久保忠房

松万石あり内うい  
らうれ名あり。うざ

酒つりたき松あり  
そまう松の林あり

うけふ大岡の跡をこ  
り小田原ありまむ

さう枕せりありさう  
ちのあり。ゆりく石

の方小をううんと  
塔乃はしきあり

ゆりありさう其下  
やぶのゆり入湯あり

○まももは。大さき  
○は。さ。さ。い。は

ゆりれも茶やあり  
のまはるんあり

ありてう。白あり  
ゆりてう。白あり

○え。こ。の。比。り。を。こ  
ゆりてう。ん。の。社

え。ゆりてう。あり  
このあり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

ゆりてう。あり  
ゆりてう。あり

一 大野まきそら丸乃珍  
 一 時宗月夜の多  
 一 夜ふたつ 忽清半舟  
 一 安徳收方 妻あむ  
 一 了り南湯 湯物持  
 一 東福寺 方丈  
 一 見の所とさむねふ  
 一 九光社 貝一ツ  
 一 一ツ  
 一 牛乃玉 一ツ 六寸五分  
 一 麻の玉 一ツ 三寸五分  
 一 天の孫衣  
 一 ねねの湯 方乃りしり

一 大野まきそら丸乃珍  
 一 時宗月夜の多  
 一 夜ふたつ 忽清半舟  
 一 安徳收方 妻あむ  
 一 了り南湯 湯物持  
 一 東福寺 方丈  
 一 見の所とさむねふ  
 一 九光社 貝一ツ  
 一 一ツ  
 一 牛乃玉 一ツ 六寸五分  
 一 麻の玉 一ツ 三寸五分  
 一 天の孫衣  
 一 ねねの湯 方乃りしり

一 大野まきそら丸乃珍  
 一 時宗月夜の多  
 一 夜ふたつ 忽清半舟  
 一 安徳收方 妻あむ  
 一 了り南湯 湯物持  
 一 東福寺 方丈  
 一 見の所とさむねふ  
 一 九光社 貝一ツ  
 一 一ツ  
 一 牛乃玉 一ツ 六寸五分  
 一 麻の玉 一ツ 三寸五分  
 一 天の孫衣  
 一 ねねの湯 方乃りしり

一 大野まきそら丸乃珍  
 一 時宗月夜の多  
 一 夜ふたつ 忽清半舟  
 一 安徳收方 妻あむ  
 一 了り南湯 湯物持  
 一 東福寺 方丈  
 一 見の所とさむねふ  
 一 九光社 貝一ツ  
 一 一ツ  
 一 牛乃玉 一ツ 六寸五分  
 一 麻の玉 一ツ 三寸五分  
 一 天の孫衣  
 一 ねねの湯 方乃りしり

一 大野まきそら丸乃珍  
 一 時宗月夜の多  
 一 夜ふたつ 忽清半舟  
 一 安徳收方 妻あむ  
 一 了り南湯 湯物持  
 一 東福寺 方丈  
 一 見の所とさむねふ  
 一 九光社 貝一ツ  
 一 一ツ  
 一 牛乃玉 一ツ 六寸五分  
 一 麻の玉 一ツ 三寸五分  
 一 天の孫衣  
 一 ねねの湯 方乃りしり



一 大野まきそら丸乃珍  
 一 時宗月夜の多  
 一 夜ふたつ 忽清半舟  
 一 安徳收方 妻あむ  
 一 了り南湯 湯物持  
 一 東福寺 方丈  
 一 見の所とさむねふ  
 一 九光社 貝一ツ  
 一 一ツ  
 一 牛乃玉 一ツ 六寸五分  
 一 麻の玉 一ツ 三寸五分  
 一 天の孫衣  
 一 ねねの湯 方乃りしり



三里

廿八所

又た

人二百廿八

下り二百七十五

石坂。凡そ一。境本

修更さかこ乃境

けうう車。あつふの

城於えゆ。甲石坂

甲石と云ふ石坂。石坂

。大くれ木。小う且木

。小甲茶やかりこれ

。分三徳人ニリ。右の

方。城ありと甲甲比

合戦ありて一柳

別うら死し。あつふ

石と云ふ。長坂。大志

く且。小く系茶やあ

。下長坂。三ツや茶や

。常陸七面あり。一

乃山茶や。塚系

てあつふ

紫系平

あつふのりりあつふの

とけふ界の権さ

らら人のとあつふぬ

。はあつふあつふ

小と云ふ。あつふ

三リきあつふ

松本乃城下とあつふ

。あつふあつふ

そのあつふあつふ

あつふあつふ

を。一。あつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

。あつふあつふ

尾巻のり。ろろ梅が系

○今升坂あさひの社あり。かろく町。二橋入り。小橋のり

三つ橋。一里半

本六十八又。同や

より四十四又。後段

人三十三又。故ある

下り七十五又。四十八又

○後段の方より右

の方の社乃やろり

三丁。むご左の才。細

川。みき。二町。社。の。僅

考とく。う。又。き。あり

○子。費。どの。町。む。ぐ。れ

右の方。より。む。い。づ。れ。水

す。ふ。ぐ。と。ろ。こ。こ。さ。ろ

が。所。新。あ。い。さ。れ。は。靴

箱。あ。い。さ。れ。は。靴

の。を。と。く。今。小。智

け。す。け。れ。中。也。山。ま

は。社。乃。内。お。も。む。向。者

た。り。の。方。より。ゆ。が。淵

み。い。り。ま。も。ひ。ま。の。池

一。あり。り。屋。さ。ぬ。き。人

ま。り。て。ゆ。と。そ。あ。ま。り

ゆ。り。い。れ。い。ち。ち。り。の。る

は。を。め。い。と。り。り。り。り

ゆ。や。が。ゆ。ち。と。を。あ。り

○三。ま。い。ち。り。ゆ。あ。り

七。り。の。舟。より。一。あり

あ。り。一。路。橋。の。り

う。け。音。入。す。又。人。一。人。い

又。す。久。東。風。は。は。り

ぬまづが一里半

本五十八又。同や

より四十四又。後段

人三十三又。故ある

い。と。と。し。ゆ



恒々田が 北七町

本世八又。同や

より四十四又。後段

人三十三又。故ある

小徳飲岩中。に。曉。れ

者。○下。京。は。あ。い。経

と。納。る。塚。あ。り。た。り

○ち。く。は。川。橋。あ。り。其。廿

北。一。里。の。け。り。あ。つ。は。バ

つ。を。と。く。て。こ。こ。と。し

凡。雅。の。徳。院

ち。く。生。の。喜。村。あ。り

す。り。余。り。り。を。え。て

い。く。ろ。の。岩。北。向。者

○今。世。津。村。の。こ。の

あ。り。い。く。の。塚。宮。あ。り

八。世。の。月。へ。世。二。町

本世八又。同や

より四十四又。後段

人三十三又。故ある

○百。五。村。禅。寺。あ。り。

八。橋。村。ふ。せ。村。括。村

○成。田。村。式。部。村。の

村。い。は。る。考。や。一。さ。び。あ

り。あ。い。さ。げ。い。ろ。布

引。少。人。を。む。か。能。生

保。く。い。は。坂。曾。坂。下



下リを子安より四ノ宮

○三牧より入口の所

○小田川より小田城

川へ渡す。小田の松

宮より下りたの方より

昔六代と切らせし

所。五反田をより

原より下りて村に

たり。東よりとあり

是より。小田より

○大田より。松原。今

次。三本松。八

十里

下リを吉世より八

十里

○上田の城下五

里

東西に

と一里

西より

東より

南より

北より

東より

西より

南より

北より

東より

西より

南より

北より

東より

西より

南より

北より

東より

西より

下リを子安より四ノ宮

○三牧より入口の所

○小田川より小田城

川へ渡す。小田の松

宮より下りたの方より

昔六代と切らせし

所。五反田をより

原より下りて村に

たり。東よりとあり

是より。小田より

○大田より。松原。今

次。三本松。八

十里

下リを吉世より八

十里

○上田の城下五

里

東西に

と一里

西より

東より

南より

北より

東より

西より

南より

北より

東より

西より

南より

北より

東より

西より

南より

北より

東より

西より

高き嶽く切りめ  
 さんごもたけぶりの  
 物かりいよやせねと  
 るへあんにくくあえ  
 ぬくりてうらやま  
 りまのさか我を思  
 めらざるゆへに家ハ  
 つひよこいしりり  
 ぶいけりしものぞ  
 うらまひて終り  
 真書新をまめ  
 王とや傳ふり。元  
 吉原。ゆへに。富  
 士の裾野にあり  
 ありふくくえの  
 そのづらくとせよ

下りつが 二里 廿五  
 浦系へ 同や  
 本百ふた文 跡ま  
 多百文

人七十四文 車あう  
 本百ふた文 同や  
 〇たの方より長地  
 なるものありは考  
 の名なり。若手家  
 乃軍芸中をたか  
 二撃のぐれきーと  
 つひいしり。みちち



〇皇月の三月八日毛  
 ころゆふふの老今  
 小月毛るあまら  
 八百石村とまら  
 海神皇月祿津  
 兄弟三人於知り  
 とつえり。新田村  
 〇のこい村。は村  
 小無量と云祿ち  
 あり。唐の祿坂  
 いさう坂をりあり

新田が 一里  
 本百ふた文 同や  
 〇新田村。は村  
 〇新田村。は村  
 〇新田村。は村

〇新田村。は村  
 〇新田村。は村  
 〇新田村。は村

〇新田村。は村  
 〇新田村。は村  
 〇新田村。は村

〇新田村。は村  
 〇新田村。は村  
 〇新田村。は村

〇新田村。は村  
 〇新田村。は村  
 〇新田村。は村

とさし一畝のの末  
 畑一畝泉村種を  
 〇新田知く志のひき  
 千久のとて赤くハ  
 〇其の社あり月立  
 さい礼やおさめ者  
 新田と。喜徳。志徳  
 何れよりい川より  
 源りあるい橋の川  
 大なる川ありとい  
 〇流る。河系ありと  
 の木村。りて市を奈  
 ヤ小川海あり。い  
 〇いの木。かぞ。松  
 〇前の方又深くと  
 後見ると云有り  
 男我兄弟の石塔  
 いたわもの 祐成  
 若菜院 徳寺

附宗

〇新田知く志のひき  
 千久のとて赤くハ

〇其の社あり月立  
 さい礼やおさめ者  
 新田と。喜徳。志徳  
 何れよりい川より  
 源りあるい橋の川  
 大なる川ありとい  
 〇流る。河系ありと  
 の木村。りて市を奈  
 ヤ小川海あり。い  
 〇いの木。かぞ。松  
 〇前の方又深くと  
 後見ると云有り  
 男我兄弟の石塔  
 いたわもの 祐成  
 若菜院 徳寺

重すところなり  
 〇新田知く志のひき  
 千久のとて赤くハ  
 〇其の社あり月立  
 さい礼やおさめ者  
 新田と。喜徳。志徳  
 何れよりい川より  
 源りあるい橋の川  
 大なる川ありとい  
 〇流る。河系ありと  
 の木村。りて市を奈  
 ヤ小川海あり。い  
 〇いの木。かぞ。松  
 〇前の方又深くと  
 後見ると云有り  
 男我兄弟の石塔  
 いたわもの 祐成  
 若菜院 徳寺

下の強勝。二里  
 〇其の社あり月立  
 さい礼やおさめ者  
 新田と。喜徳。志徳  
 何れよりい川より  
 源りあるい橋の川  
 大なる川ありとい  
 〇流る。河系ありと  
 の木村。りて市を奈  
 ヤ小川海あり。い  
 〇いの木。かぞ。松  
 〇前の方又深くと  
 後見ると云有り  
 男我兄弟の石塔  
 いたわもの 祐成  
 若菜院 徳寺

〇新田知く志のひき  
 千久のとて赤くハ  
 〇其の社あり月立  
 さい礼やおさめ者  
 新田と。喜徳。志徳  
 何れよりい川より  
 源りあるい橋の川  
 大なる川ありとい  
 〇流る。河系ありと  
 の木村。りて市を奈  
 ヤ小川海あり。い  
 〇いの木。かぞ。松  
 〇前の方又深くと  
 後見ると云有り  
 男我兄弟の石塔  
 いたわもの 祐成  
 若菜院 徳寺

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里  
中ノ系ガ 一里  
中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

清野  
中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

中ノ系ガ 一里

ある嶋中を却てふお  
まうり有りたれいぬあ  
却るく年一おちを  
山そのつづきを流る  
とるあぬれ物もすう  
浪よまふらるぬく火  
ハ小舟にそへうとら  
こはぬあつゝぬあさ  
ぬづり者相す浦き門  
むゆんをちうて東  
ふにまゝとるるら  
お坂原の志又大軍  
ついでとてとつらう  
漢舟人影冷焼波  
驛路鈴舌夜過山  
とけらうゆふもあぬ  
おは川お我実房  
清らんが開小屋て  
ゆふの嵐乃馬をふ  
木の葉やうらうら

塩尻へ一里世丁  
廿七丁  
本七十四又 同や  
うり十又 ぬあう  
。松本飲こ。西条村  
おの妻をこり舟と  
お急平がせらるる  
。大こや村さうあ。  
大門村は右松本乃  
おひ乃がおへかへ  
出るは松本うい乃と  
いふ松本城下へり守  
。さい本村。大宮村。  
まうやうが原山縁  
こら着るゆふの場  
なり六十三人の塚を  
洗る分 世町  
本三十五又 同や  
う廿又 焼たら

仲はが一里所  
ぬらうへ  
本四十七又 同や  
う廿二又 焼たら  
人九三又 焼たら  
下り本四十五又 世又  
。いおひりーまうらんか  
開く実所ありを  
云。清見ちおあを  
かあさるいゆづ  
ゆづやとら。清見  
寺六蔵ふ求むと  
いふち二百里を  
乃強い船舟を  
多氏の清見あり  
清見が宮の古麻  
五堂は萬一十七  
のい梅ありん  
よく系地あり。お  
ごり以んし打川。

お忍川へ二里  
本九十五又 同や  
う六十五又 吉なる  
。松本飲あ方おら  
まの檜町いが柳の  
やうじとら。日出  
村。檜村とら  
は檜の言申分東い  
本本飲西いおら  
焼たり檜信よ下の  
檜町是より本乃  
乃内巻の坂けき二  
うあまそ名一り  
あけりお。おび村  
。あ林子む。さち

○よりききろいん川  
うらほり。すくき流  
河のたぬ川小なり。あ  
かつていなる

江尻が 二里半  
ふちうへ

本百廿一文 同や  
く七十七文 同や  
人又十文 同や

下り本百廿五文七十五文  
○所たつし不いなり  
傍り本廿九文九文  
ふぬまげんあいのり

たの方久能の  
乃ありはふ乃くち  
油屋ふらびらんえん  
てあがれりあはは故  
くあざらくせり

くや。こうだつた乃  
方ふらだか比とて

田の中ふちいれ池  
ありあるに松二本  
ありしーはにちうの  
いづしがあつた  
その神とぬり  
アんさのあしして  
ほいま比小あて  
ひげあぬ其ま  
くんのらり作身乃  
人あのにりさあ  
てうんとよんそ  
よりあうけやま  
あひるさうばを  
つえびああをさ  
あそとわりそめい  
又録二年八月分  
身とまけーやうり  
○よーた。あめま。机  
ささ。田乃上り  
源の頼家いりる

の本む  
焚川が 一り半  
あつていなる  
本七十三文 同や  
く七十七文 同や  
此西なごや成は者  
乃中なるれ小川者  
は。あ。序番新  
名あやあ。押のしり  
中りじ本とる板橋  
者。さ。坂方流の  
たの方すの神社  
○平は村は松野  
あひ  
本百廿五文 同や  
中ぶらうへ十断  
本七十九文 同や  
く七十七文 同や  
はあひのるを  
竹が 松野や細工



公のちゆくし橋系  
 平翁系時をゆくし  
 てあらさんとあめふ  
 味よのらつ子た家の  
 子で引つ止むけむ  
 清らんが愛ふむり勢  
 わかひあふりれ地  
 味のあまさあふりい  
 とも酒とむさるりじ  
 不の合志さだめあ  
 のりうらに志されを  
 人くゆ中しは  
 矢とわけてゆか  
 退くけしにむけさ  
 ばす所の橋まそは  
 合ありその時りま  
 と思いうしろのま  
 うけくくも切ぬや  
 ぐそそのくびとあ  
 むさふさるしは後

とつき上るうの平地  
 のやうといゆふ掛橋  
 せあつすとつり本  
 曾川たへ流とちまふ  
 細りりり教系入  
 伊小味吹川中橋有  
**教原** 一里世町  
 文の越へ  
 か八十二文 同や  
 六十九文  
 ちあし行ハ一切な  
 是より英波乃落  
 合すそへあ方生志  
 考りくろ源ふと本  
 本や川流る田圃又  
 流とあふ大ぬこ池  
 奥ふふ大本板あど  
 大分わらなごやふ

小ハ約のむめわう  
 けきくま系又橋  
 たてこり田乃と  
 玄所のちれきさ  
 ぶまのちらうう系  
 岩ののりてよりち  
 りうぐさ系さるる乃  
 ありとあり又馬の  
 くらいたる系ありそ  
 空のののすかづ  
 くらいつくさるこくお  
 けとてあり乃方  
 ざりづりりもかさ  
 し。まがらまかひし

あり。吉田村川橋  
 あり。徳勢吉村本  
 曾川大橋。たのち  
 小とりえふぬき墓  
 形も同支所も有  
**文乃** 一里  
 あり 廿八丁  
 か七十七文 同や  
 六十九文 恐る人  
 〇まがらぬし教系  
 ば者の家外り板分  
 かりをを所な  
 ぶ中乃し十町紐先  
 二巴が瀬ふ吹か瀬  
 と云者た乃文又  
 一伸の城のち  
 表の内よ養仲あ  
 ハヤんれ社有。あ  
 この文もなす約  
 ぐどけらなま

府中

一里法

府中  
 八十二文 同や  
 六十九文  
 人 四十二文 かせ  
 下りハ八丁文うらま

あり。吉田村川橋  
 あり。徳勢吉村本  
 曾川大橋。たのち  
 小とりえふぬき墓  
 形も同支所も有  
**文乃** 一里  
 あり 廿八丁  
 か七十七文 同や  
 六十九文 恐る人  
 〇まがらぬし教系  
 ば者の家外り板分  
 かりをを所な  
 ぶ中乃し十町紐先  
 二巴が瀬ふ吹か瀬  
 と云者た乃文又  
 一伸の城のち  
 表の内よ養仲あ  
 ハヤんれ社有。あ  
 この文もなす約  
 ぐどけらなま

○流城ありあり。後  
弓の社流城の西  
あり。在平中安士  
奉文より後して  
新まると云らう門  
跡あり。いり。當  
一乃。言。社。終。二。あ  
古。百。石。高。出。久。然  
寺。と。運。鏡。寺。と。あ  
別。當。に。社。主。知。社  
宮。内。と。云。儀。方。の  
上。乃。之。然。者。あ。り。と  
ふ。と。云。名。あ。り。て。古  
あ。り。と。中。以。城。跡。あ  
○原。流。と。云。て。今。川  
の。形。ふ。あ。り。寺。終。百  
石。○。町。乃。乃。之。室。屋  
院。と。云。海。中。家。乃  
大。ら。中。寺。終。二。百。石  
寺。裏。屋。あり。あ。り。

るあり。系。仲。村。  
上。聖。村。小。池。村。  
栗。本。村。大。系。川。の  
約。が。新。丸。集。分。り  
川。に。大。板。橋。けり  
梳。り。く。も。子。橋。あり  
○。荒。り。林。○。福。宮  
寺。開。新。の。村。を。名。米  
勤。農。の。女。人。を。洗。袍  
の。政。けり。○。を。合。増  
橋。の。名。と。町。に。き。こ  
福。宮。寺。 二。里。半  
お。げ。松。人。 同。や  
本。百。石。又。線。を。更  
り。八。十。九。又。又。ら。う  
○。あ。り。や。然。に。者。より  
本。寺。の。有。こ。の。坂。乃  
し。毎。日。市。立。か。り。切。り  
名。和。こ。た。の。方。小。池  
り。と。る。ふ。り。室。あり

川。と。い。こと。條。名。地  
たり。系。や。あ。り。川。い  
の。ら。後。に。盛。山。石。等  
是。が。小。に。あ。り。く。が  
い。と。あ。り。せん。ト。系。終  
何。れ。ち。や。と。云。○。四。又  
所。川。上。小。こ。が。の。の  
あ。り。と。名。あ。り。又。運  
穂。ち。が。の。樹。院。と。云  
大。寺。あり。ち。終。四。百。八  
十。石。坊。舎。廿。一。部。あり  
○。子。越。村。む。り。抱。め  
子。ト。田。の。あ。り。と。云  
○。こ。こ。こ。り

系。仲。の。城。山。あり  
信。長。時。代。と。い。本。寺  
名。政。乃。居。城。と。系  
地。こ。の。村。名。系。村。居  
住。し。知。り。七。子。也。而。不  
信。金。賣。所。や。も。あり  
は。あ。り。万。石。の。名。後。ち  
と。云。七。寺。の。ら。ん。乃  
終。ち。あ。り。山。村。氏。の  
形。ふ。寺。と。松。川。村  
ち。と。い。儀。文。あり。○。の  
後。村。板。本。村。川  
瀬。村。下。板。本。村。  
か。ら。村。の。名。あり。  
多。居。村。終。けり。乃  
ら。り。の。た。の。方。小。池  
○。あ。り。る。村。福。宮。寺  
一。リ。半。余。小。坂。神。乃  
こ。た。い。い。ま。は。は。た。り  
係。山。か。い。志。げ。り。と。り

菊子分 二九町

お。う。ら。へ  
本。百。石。又。同。や  
り。九。十。又。三。三。又  
人。七。十。又。七。十。又  
下。川。本。百。石。又。九。十。又



○浦りて川小橋ありい  
橋より六十餘りて  
さひとくちとんきよ  
津家本行しちん八  
十五女くん喜縁五  
年死去せしとあり  
石塔ありりてある  
乃ハ。うほのや十  
子せうりは木の忠  
し。橋よりあり十六  
町と地甚きあり。  
いせ相傳ふあり平  
ゆり考すありと  
つと人ありぬ  
いはいしはと乃  
ゆりありありと  
おんまのたの方  
乃乃のふり。や  
の村ぢぞうきあり  
五浦ありあり。

○本曾乃四ふ  
たのふらと  
らたのふらと  
ふらて本曾乃  
なまのふらと  
乃中げんは大本と  
しうし入角本とあり  
ざりをうしとす  
城ありありと  
あり  
後撰集  
あまのふらと  
くしとありと  
いはいありと  
上代と今とあり  
小乃ありと  
ふらとありと  
十五乃のうしと  
川乃ふらと  
ありありと

りや村小村。横き  
村。大さありふら小橋

足形台一里

ありありへ 廿六町

廿七十九文 同や

うりあり 法  
人廿九文 たる

トリ廿七十九文ありあり

○横きありありの小村と

油ういと云。物あり川

横き廿三町ありあり

ありあり。やうあり

七横。い横橋あり

社あり。鬼徳あり

ありありとありあり

白子とありありあり

横き白子のありあり

ありありありあり

ありありありあり

サ上り小村とあり

云。右のふらあり

あり法ありとあり

い不初とありあり

乃ありありあり

本曾乃の大川とあり

上松台 三十九

すありあり

ありありあり

ありありあり

ありありあり

ありありあり

ありありあり

ありありあり

ありありあり

ありありあり

ありありあり

乃城のうらなり

菰板分 二重ハ

高野

本百廿七又 同ヤ

千ハ十又 長き人六ナ又 治き人

下リ本百廿七又ハ千又

○田中ノ大ニ町中

たノ方ハ城ハる場

質濃縄より○右

乃十四ノ所ハ多リ

○右ノ方ハ津ノ川ハ

町ハ後リニ菰板乃

出シ○右ノ村大本

のナリ○南ナリ屋

まうり山○水の上六

ぢぢう村地ヲ多ク

○青物深ク茶や

セとの深クハ雨乃

名相○二水や○三水

ヤ○ヤ川ナリ○

○乃城村○かろりヤ村

鴨田分 一里

本百廿七又 同ヤ

千ハ十又 長き人六ナ又 治き人

下リ本百廿七又ハ千又

○田中ノ大ニ町中

たノ方ハ城ハる場

質濃縄より○右

乃十四ノ所ハ多リ

○右ノ方ハ津ノ川ハ

町ハ後リニ菰板乃

出シ○右ノ村大本

のナリ○南ナリ屋

まうり山○水の上六

ぢぢう村地ヲ多ク

○青物深ク茶や

セとの深クハ雨乃

名相○二水や○三水

影山峰泉ちん床

二とちゆは浦嶋

乃西新屋路中

より孫覚の森見

くぐり七地系新

ミゆるあそ川ハ流

の川ハ瀬岩ナリ

こハ小松岩ナリ

多事有るあつて

く浦島ガ所ハ場

石ハ多ク石屋風

ナリ分板石ナリ

あそ大空石小空

ナリ○右ハ

ハ河原ニ娘小松

名本ナリ○右ハ

天の社有○町

ぢぢう村地ヲ多ク

○青物深ク茶や

セとの深クハ雨乃

名相○二水や○三水

ヤ○ヤ川ナリ○

○乃城村○かろりヤ村

鴨田分 一里

本百廿七又 同ヤ

千ハ十又 長き人六ナ又 治き人

下リ本百廿七又ハ千又

○田中ノ大ニ町中

たノ方ハ城ハる場

質濃縄より○右

乃十四ノ所ハ多リ

○右ノ方ハ津ノ川ハ

町ハ後リニ菰板乃

出シ○右ノ村大本

のナリ○南ナリ屋

まうり山○水の上六

ぢぢう村地ヲ多ク

○青物深ク茶や

影山峰泉ちん床

二とちゆは浦嶋

乃西新屋路中

より孫覚の森見

くぐり七地系新

ミゆるあそ川ハ流

の川ハ瀬岩ナリ

こハ小松岩ナリ

多事有るあつて

く浦島ガ所ハ場

石ハ多ク石屋風

ナリ分板石ナリ

あそ大空石小空

ナリ○右ハ

ハ河原ニ娘小松

名本ナリ○右ハ

天の社有○町

ぢぢう村地ヲ多ク

○青物深ク茶や

セとの深クハ雨乃

名相○二水や○三水

ヤ○ヤ川ナリ○

○乃城村○かろりヤ村

鴨田分 一里

本百廿七又 同ヤ

千ハ十又 長き人六ナ又 治き人

下リ本百廿七又ハ千又

○田中ノ大ニ町中

たノ方ハ城ハる場

質濃縄より○右

乃十四ノ所ハ多リ

○右ノ方ハ津ノ川ハ

町ハ後リニ菰板乃

出シ○右ノ村大本

のナリ○南ナリ屋

まうり山○水の上六

ぢぢう村地ヲ多ク

○青物深ク茶や



舟の長が 一里半  
舟の長が 一里半

舟の長が 一里半  
舟の長が 一里半  
舟の長が 一里半

舟の長が 一里半  
舟の長が 一里半  
舟の長が 一里半

舟の長が 一里半  
舟の長が 一里半  
舟の長が 一里半

舟の長が 一里半  
舟の長が 一里半  
舟の長が 一里半

舟の長が 一里半  
舟の長が 一里半  
舟の長が 一里半

小築乃中ふいふ

初うくりきさふいふ  
山の中入丁剛さむじ  
自坂の里ふめをひぢ  
産の杉や杉そいひき  
ろろろそぬをも人  
あふくころろこれゆり  
ぬその女まろそて此  
月事然うむびきそ  
みけの女がくありふ  
いおの方ふるふ乃中  
まは神の経けろが  
あひれ之母のまろそさ  
ま子そあがーそさ  
てそまそまそまろし附  
法師あふくくあを  
あれがあがげまそそ  
まちふあふむし世の  
あふあてあふまふと  
あふ月日そまそ

白き城坂九本  
勇乃城のそきめ  
城この方河坂乃  
親善堂を本え川  
此を流る山坂乃難

あまあふ  
中こめめ  
か百い文  
ろそそ

あまあふ  
あまあふ  
あまあふ  
あまあふ

小築系かゆく神  
ろくやああ

く口すすきまふ  
たりたりあふいふ  
とふまそまそま  
ゆかむろろあふい

つふいふあああ  
我いふのゆき母  
小まふれあもゆき方  
まかなりぬまあは  
あむろきそまふく版  
乃ゆきん母あはれ  
まろろはむあま  
まそとそまふま母  
まれの生れ月  
あまろそまふろき  
まろくむれあはれ  
あまろそまふろき  
あまろそまふろき  
あまろそまふろき  
あまろそまふろき

是が流る山入り  
あふあふあふあ  
あふあふあふあ  
あふあふあふあ  
あふあふあふあ

あふあふあふあ  
あふあふあふあ  
あふあふあふあ  
あふあふあふあ

あふあふあふあ  
あふあふあふあ  
あふあふあふあ  
あふあふあふあ

あふあふあふあ  
あふあふあふあ  
あふあふあふあ  
あふあふあふあ

あふあふあふあ  
あふあふあふあ  
あふあふあふあ  
あふあふあふあ

てのふしは良ありと  
 一ぬまを人にたかて  
 の萩乃まよしその付  
 母が首よまきけりし  
 神い何くのものあり  
 ぶのんぢりやまほし  
 かなさと討ちばあも  
 カとそ人ゆんんと  
 その物ととりれま  
 とりしをり余さう  
 とのふあそまかつく  
 母の故と討ちのまい  
 切家ていふあり  
 子母乃成ふとと  
 ひぬ長らぬむぢん  
 乃るの者二月の初  
 年の月家帳あり  
 亥へつう西のほ竹  
 物乃乃ほのでふは  
 而びととりて

とらたの方  
 新会方 一里  
 中津川 同  
 小むす文 長き人  
 ぐ世と又 新ちり  
 〇茨波の四乃乃方  
 城の者本家の侍小  
 前合共高島乃居  
 住地この村またら  
 射多死を知る西ふる  
 〇栗坂さうこ。まは  
 村。お中坂。お中村  
 村。上島村茶や坂  
 とのふ坂者茶作堂  
 あり。中津川者  
 八はに苗本家乃あり  
 右の方のまは苗本  
 城の者ぬたありあり  
 城下あちを川流す  
 川向へたり城まをい

年々は又越えり  
 あいさや今近なり  
 さよ乃中ふ  
 新お今築にあり  
 又ち今より  
 かいり給とさややと  
 みーりをいれり  
 ありみやらやお中  
 山  
 山の中のふと曲り  
 けくよるさの松あり  
 は雲を火よりり  
 すれと子たのねは  
 とむらとてさう  
 縁人けづり又ゆ  
 柳とけはのふり  
 い松さうり  
 おる常のふさづ  
 ことあさききあり  
 〇山崎さうびさ  
 名おしんどの結  
 る

中津川が 二里  
 お中町 同  
 本百十文 長たう  
 くりさ又 動物  
 〇おろし 霜の物  
 きたる梅あり。すま  
 村。こせんた村は  
 川方あり本乃城  
 大蔵の懐文あり。お  
 と林村。お子川村  
 中。岩瀬村あり  
 あり。大井の若井  
 村の才木林は  
 石塔ありは  
 おり家あり。うい  
 あり岩村の城  
 乃のりあり。お  
 ちりやへ十八里  
 あり三里

くらひゆめのことき

日向坂分 二里九寸

本八十五又 同や

りふす又 合九寸

人四寸又 十九寸

下り八寸又 五寸又

。町の交茶やあ

村養田のい勝社

百石たよいてう

町あの方よりあ

み新やめてあ

乃細と云あい

よあわさうれ何

あうとああて

一。及の田あ

うんさせしは

てあ。勝さう

あう。あう

あう。あう

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

大井分 二里半

大くてん

本百八又 同や

う百八又 同や

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ

。ああ



つらぬりいづきむ十  
町斗右の方よりあり  
ひらくくは流の粒粒  
飛来するへ美令の小  
れは去りて着の村  
てははあふは落今  
かまひくくさたるは  
からまひくくさたるは  
みりたりし四十七  
。ん方の坂さりの上  
の能理おんげの社  
あり。大くがわと  
ふは

見付方 四里七

か二百世又  
う百五又  
人百才又  
。東よりわが人は

かり。今ふつり  
信長時代表武蔵吉  
居城也。豊田入二  
住者肥田吉兼居城  
之右にか茂那の地

伏見方 二里

宿市しきむ  
。すむ。今後村  
。古田村。古田川大  
。一悔一可  
水入の本常川之  
川より古田村  
下い河ぬま笠松萩  
系中興乃後人  
。古田川大  
。一悔一可  
水入の本常川之  
川より古田村  
下い河ぬま笠松萩  
系中興乃後人

古田方 二里

てつる又つる  
。ひ田の地より天竺川  
。坊人二里よりあり  
。十五坂。所  
。中川橋十二  
。惣社明神社  
。小加茂川橋  
。坂。さりの松  
。うあり。た  
。社。三。多  
。寺あり。中  
。あ。長。池  
。場。右。方。二  
。り。寺。あり。

。川。と。り。た  
。か。と。れ。坂。と。云。わ。を。さ  
。坂。乃。古。田。川。向。ひ。た。乃  
。古。田。川。向。ひ。た。乃  
。古。田。川。向。ひ。た。乃  
。古。田。川。向。ひ。た。乃  
。古。田。川。向。ひ。た。乃  
。古。田。川。向。ひ。た。乃  
。古。田。川。向。ひ。た。乃  
。古。田。川。向。ひ。た。乃



陰と云ゆやが母乃石  
より湯を煮て種と  
つゆもあつた。又さう  
川信別とてこれゆあ  
より湯を煮て種と  
大天竺の石を煮て  
と云。此後とて此後  
十又六水より子あ  
乃敷を煮て種と云  
左京の戸のすん中  
なりとて中の田を  
かやんを、おんはな  
越の乃を煮て種と  
茶師の田やしきき  
。おまの石を煮て種  
おまの石を煮て種  
乃方又湯を煮て種  
以三百石の種を煮  
乃方又湯を煮て種  
と云。此後とて此後  
と云。此後とて此後

道にやいふ石の流れ  
がけの湯を煮て種  
親名坂とて大和  
乃この石の曲り角  
おまの石を煮て種  
と云。此後とて此後  
大和の石を煮て種  
乃この石の曲り角  
おまの石を煮て種  
と云。此後とて此後  
大和の石を煮て種  
乃この石の曲り角  
おまの石を煮て種  
と云。此後とて此後

○杜松。天神所居  
なり。まごの石を煮  
三十三石の種を煮

淡松分ニリ石

まの石へ十三丁

本百石又四々

り七十九又

人十丁又

○清城。おまの石を煮  
井上河内を煮て種  
万石。おまの石を煮  
神の石を煮て種  
乃この石を煮て種  
系新田乃の石を煮  
なりたの石を煮て種  
なり。おまの石を煮  
おまの石を煮て種  
坂の石を煮て種  
やとて此後とて此後

乃この石を煮て種  
かやんを、おんはな  
越の乃を煮て種と  
茶師の田やしきき  
。おまの石を煮て種  
おまの石を煮て種  
乃方又湯を煮て種  
以三百石の種を煮  
乃方又湯を煮て種  
と云。此後とて此後  
と云。此後とて此後

乃この石を煮て種  
かやんを、おんはな  
越の乃を煮て種と  
茶師の田やしきき  
。おまの石を煮て種  
おまの石を煮て種  
乃方又湯を煮て種  
以三百石の種を煮  
乃方又湯を煮て種  
と云。此後とて此後  
と云。此後とて此後  
大和の石を煮て種  
乃この石の曲り角  
おまの石を煮て種  
と云。此後とて此後  
大和の石を煮て種  
乃この石の曲り角  
おまの石を煮て種  
と云。此後とて此後

舞坂が海に二里  
ありしに 海に二里  
ありしに 海に二里

の舟より切の百にたま  
りの百四十文のり合  
つりり舟人奴次等  
一船為切の元又のり  
うけの人たふしんち  
尾張紀の玉流の艘  
百世又の登七附て  
の舟等だ。は海で  
切と云むしはは水  
のより海でさしてく  
地なりしに二百海  
の舟等年中大北表  
しそこの奥方海  
そくくわの玉海で  
そくくわの玉海で  
ありりりりりりりり

と飛騨のちの海  
あり。各勢海  
うねり三三三の方  
か尾別小牧山あり  
は水の大川と雲々  
合戦の時難政人  
叔後りりりりりり  
あり。新加納村

加納が 一里半  
がうとく人

かさす又 同や  
う四十五文 海  
。おの方不城の城  
永井大学友三万二  
ある。お乃乃の  
三万五。宿の物  
れ。固懐山と云  
城山見ると佐長  
お城のありりりり  
ありりりりりりり

あつめの候と申す  
ゆとぬ元禄年中つ  
波りて海上おくり  
風あり波りて時  
船難者たりしに

おのの候と申す  
ゆとぬ元禄年中つ  
波りて海上おくり  
風あり波りて時  
船難者たりしに

新 長谷 一里半  
ありしに 海に二里  
ありしに 海に二里

の舟のま場小舟  
關所者ありしに  
せんさくありしに  
ありしに 海に二里

あつめの候と申す  
ゆとぬ元禄年中つ  
波りて海上おくり  
風あり波りて時  
船難者たりしに

あつめの候と申す  
ゆとぬ元禄年中つ  
波りて海上おくり  
風あり波りて時  
船難者たりしに

新 長谷 一里半  
ありしに 海に二里  
ありしに 海に二里

の舟のま場小舟  
關所者ありしに  
せんさくありしに  
ありしに 海に二里

ちう建右の方小湊  
名の橋乃竹を曰  
方は松ありあり  
大々うま 小村明長  
高師安々入れ  
つれくちもぬれ橋と  
月とるらるれ  
長昌

松ありては神より  
橋人下湊名の橋と  
名付とありり  
徳念右存  
云の香橋より小  
旁よりある竹は  
う 橋を吹らる  
。高師安。けり  
ありありありあり  
南南へまゐりて白次  
の南の川(流れあり  
ちけあるとあり)

飯俣(三)り右乃  
方よりあり。柚木川  
りち後り。小村村  
。お光村。東の川  
橋あり。お光村。松村  
はち小村あり

矢野(五)り向  
ありあり  
お八五又 四  
う又又又 八  
加納村宿あり。六  
ひ。大徳村。松  
川六のう。し  
亦後し川下の  
國あり。う川の  
。右の方大徳の  
とゆふ城より戸田  
拾万石と云道あり右  
お初る三田柳川  
後し橋あり。お光

### 白次 一里半

お六半又 向や  
う半又 孫  
人半又 広

。いお下の海  
一が室永回亥の年  
大湊水ありあり  
乃湊ありありあり  
お 流ありありあり  
年おのう い  
うのま。お  
富山山をのき  
流るあり。さ  
んを柏ありあり。  
堀川三河を以乃  
さうのこ小け  
おをい戸分白  
お十七里あり

### 赤坂 一里

お六半又 向や  
う半又 孫

。大垣は宿あり孫六  
おえと云力  
居。おの村。青  
葉村右の方  
佐治ありありあり  
おのう 柳長の  
おあり村の  
右の田乃中  
本ありは  
云法あり。馬  
青柳系松林  
のた。松坂  
あり。松坂

二川 二里

七十五又 同や  
七十五又 氏名  
人三十五又 七十五又

下り七十五又 同や  
いふ有る大岩の  
とて二石の二石

下り七十五又 同や  
口の方と大岩と云ふ  
大岩の石の石

西の火打坂の先  
と云ふ。二石の石  
石の石の石

石の石の石  
さふ。かきつけ  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

中仙道本宮路乃  
別乃有る井の  
赤坂のい大池なる

石の石の石  
川と云河のりら後  
り之坂と云下り

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

石の石の石  
石の石の石  
石の石の石

赤坂 十石  
あつちへ

廿七石又 同ヤ  
廿八石又 同ヤ  
人十石又 同ヤ

下り赤坂より十石又  
。竹の産とせり  
。此の方より赤坂より  
松二平赤坂の産  
。は赤坂より

赤坂 十石  
あつちへ

廿七石又 同ヤ  
廿八石又 同ヤ  
人十石又 同ヤ

下り赤坂より十石又  
。松の産とせり  
。此の方より赤坂より  
松二平赤坂の産  
。は赤坂より

之つて赤坂より  
。赤坂より  
。赤坂より  
。赤坂より

小室村あり。同  
川と云ふなり。同  
。赤坂村あり。同  
右の方より赤坂より  
松尾山。赤坂より  
川あり。赤坂より  
。赤坂より  
。赤坂より

今川 一里  
あつちへ

廿七石又 同ヤ  
廿八石又 同ヤ  
人十石又 同ヤ

下り赤坂より十石又  
。松の産とせり  
。此の方より赤坂より  
松二平赤坂の産  
。は赤坂より

赤坂 十石  
あつちへ

廿七石又 同ヤ  
廿八石又 同ヤ  
人十石又 同ヤ

下り赤坂より十石又  
。松の産とせり  
。此の方より赤坂より  
松二平赤坂の産  
。は赤坂より

赤坂 十石  
あつちへ

廿七石又 同ヤ  
廿八石又 同ヤ  
人十石又 同ヤ

赤坂 十石  
あつちへ

廿七石又 同ヤ  
廿八石又 同ヤ  
人十石又 同ヤ

下り赤坂より十石又  
。松の産とせり  
。此の方より赤坂より  
松二平赤坂の産  
。は赤坂より

赤坂 十石  
あつちへ

廿七石又 同ヤ  
廿八石又 同ヤ  
人十石又 同ヤ

坂川右一里  
河内河内へ七田

本七十五回や  
多みす又 字をら  
人二十人

下川七十五回や  
のうんをさく村。櫻松  
坂乃まきくあ虎へ  
ゆく乃をを方一里

づう乃あがさ坂坂  
乃内二田無乃古戦  
たしくま坂坂七田  
とて高土のほむを

あし西へ。空乃の  
ゆうせんち川。本田  
の川。大平川より四  
十の乃のくは雷川と

云あし田坂乃乃乃  
大平村のあやあし西  
大平村のあやあし西

田坂乃乃  
ちやあへ 三田  
本百七十五回や

本百七十五回や  
う百七十五回や  
人八十人

なり小坂を城さ田  
中勢大捕取又万石  
所乃くうねは松を川

とを川西橋の長サ世  
らるこの矢射乃乃橋  
虫并武而乃乃乃橋

あへん橋乃乃橋  
うう水の川に流され  
より通るは方板橋

西けるは利乃乃橋  
新田よりさごと此  
あしんたささる今戦

あしんたささる今戦  
西けるは利乃乃橋  
西けるは利乃乃橋



醒井右一里  
本四十五回や  
う北又 義乃乃

本四十五回や  
う北又 義乃乃

本四十五回や  
う北又 義乃乃

一統のみあし玉  
をの流乃乃乃中  
せくくえいばとらへ

あがれあつたまむじ  
やあしづけたこと  
東まを流乃乃乃

くうん孝の耐毒の  
をさあふあさる此  
腰さうけありとも

はくうをるあ玉  
さうけありとも  
さうけありとも

さうけありとも  
さうけありとも  
さうけありとも

さうけありとも  
さうけありとも  
さうけありとも

さうけありとも  
さうけありとも  
さうけありとも



の中以後は皆なあり  
 乃むと先淨海あり  
 矢もさきや名付る  
 舟の住居日か武名  
 舟もさきや名付る  
 舟の住居日か武名

といふ大海の家の  
 舟もさきや名付る  
 舟の住居日か武名  
 舟もさきや名付る  
 舟の住居日か武名

矢もさきや名付る  
 舟の住居日か武名  
 舟もさきや名付る  
 舟の住居日か武名

舟もさきや名付る  
 舟の住居日か武名  
 舟もさきや名付る  
 舟の住居日か武名





湯谷の木立のつら  
〜さゆ〜と湯谷  
うり。乃のちよ〜  
解解大明神の社名

**鳴海** 古  
千六十九又四々  
千四百又 長七  
人三才又 代 女

下り千六百又三才又  
千四百又 四々  
千六百又 又 女

風吹のつらに鳴海の  
〜さゆ〜と湯谷の  
千六百又三才又  
千四百又 四々  
千六百又 又 女

田島橋をサトウ  
天竺の式はよ

三十二年の不用  
寺名 湯谷の社名  
〜さゆ〜と湯谷の  
千六百又三才又  
千四百又 四々  
千六百又 又 女

伝承のつらに鳴海  
源をたつ湯谷  
湯所には〜と湯谷  
四十院村。石  
相村。仙石村。極多  
村。古徳村。新湯谷  
。うら川は〜

千六百又 四々  
千四百又 又 女

湯谷のつらに鳴海  
千六百又三才又  
千四百又 四々  
千六百又 又 女

湯谷のつらに鳴海  
千六百又三才又  
千四百又 四々  
千六百又 又 女

**武佐**

千六百又 四々  
千四百又 又 女

千六百又 四々  
千四百又 又 女

千六百又 四々  
千四百又 又 女

他人乃塚やとこ  
殺らるゝ  
他人を殺す事ある  
花乃文

### 宮古 七里

くまのふ  
船通  
船通  
船通

のり合三下又又  
相見合のり下又  
ろくろく付ハズ又  
き結八十又又  
か二下八又又  
甲十人のり

甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり

甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり

甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり

甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり

甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり

甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり  
甲十人のり

村八幡山とあり  
織田信長公城海  
子の方。八幡村  
。海田村。每本  
太の方。多刺村  
砂州より渡り  
る村。下之開村川  
あり。甲十人のり  
あり。か所村  
。磯山

。大笹系村。左の村  
村川あり。甲十  
村。此の方。甲十  
。山あり。坂系  
安村川あり。甲十  
。山あり。甲十

守山 一里  
。山あり。甲十  
。山あり。甲十  
。山あり。甲十  
。山あり。甲十

。山あり。甲十  
。山あり。甲十  
。山あり。甲十  
。山あり。甲十

中より一されも風を  
あし一す所をあたし  
ゆや一ゆりてより  
ゆをゆりゆりゆ

こや二り半百丈又  
中んむ一り半九十七丈又  
かより一り半七十七丈又  
さるゆ一り川舟うらこ  
くま一 二百八十五丈

大黒社の大あくひ  
大己貴も也倍天を  
乃今もいあやゆり  
つまか所標するも。  
七里のこま一入海

一木骨川前合あり  
尾張と信濃の境も  
海中一川とく一り祀  
とりて信濃半次天  
まこたの方のぬねゆ

堂二河村(瀬戸村  
一(河村)たて天皇の  
社あるの名産も此  
村より三り量もおこ

○長川村は川あり  
○淡川村。藤野井村  
あゝ春自たの神社も  
○原はのちれいふれ  
乃近ありたの中細り  
おの東海道は遊名也

草津乃 三重守  
大津人 同や  
六百六十九丈  
九丈八

草津乃東と東海は  
大津とたのうら  
百二十里東一町  
中野合六里百九丈  
野尻合三里九百九丈  
木曾路の記終

ハ神名のくまこ  
高の文。白毫ち三途川の木像あり。  
谷ちやへけられあり。あつた大船社志の  
方小舟居ありは社い日本武名又ハ細  
乃文も号ス元来そさのせれみ了り  
ありたへえり素を金也名あま思はる  
大地乃尾より得るハ細を天祀よりい  
三種の神宝とわりは

付文と出あり終不修歩乃團ハ細なり  
日本武名東夷伝代のとく本宮傍  
船倉アあり一七揚れ日本武名あり  
所一は此のあたに加へる富士のまを  
新しそ細は神火とけ一付此細自ら  
ぬけゆく切をいふ

一り半と一長は是東夷とあつけあり  
尾張よりゆり半瓊姫とたれありゆり  
こまも一り半あり此細と松乃あり一を  
うけ金箔ありそ松ノ火を分け田の中へ  
焼たを且田れあ熱りり一より熱田と

号スとかなし  
道

くまがた 百五十五  
 四日市へ 三重 九十五  
 下り 百六十五  
 七十五

○市にふおのりけいりなる乃をぬありす所  
 小舟の月舟れ火とよりをぬい給のきおこ  
 今更物三又の浦をぬりて貝合とせりよまのい  
 とよえりりり此玉のきおとせりりりりりり  
 九の方向城をぬれぬ大子の橋たき  
 城に松平下総守十方名。やと所。大福村。  
 安中村。所や川古は。百六十名。おとむ。  
 おふふ村は色り中給有。かき村おけ  
 海に橋又十一名。おち村。こも。村茶や  
 抄く村川有うち後り。こも村八やん  
 〇こもやうい村。セツヤ。おくら川古橋又十  
 九名。おくら所。おくら。四日市川古は  
 三十三名とせり乃ちとせり

四日市 二里半九町 百七十五  
 八十一又 同や 小ち  
 下り 百七十五 八十七又 六十二又

○後田村。おんせう。赤坂村入の森の中不  
 神の文者。〇うはけ川せり。〇日永  
 せんく。松林の中。神明乃文あり。  
 とあり。村記別。遊命系。あり  
 九よる。神宮へ。系文乃。あり。記す

四日市	二里半九町	百七十五
下り	百七十五	八十七又
下り	八十七又	六十二又
神戸	一里半	百四十五
白子	一里半	百四十五
榑路	二里半	百四十五
浮	二里	百四十五
雲浮	二里	百四十五
松坂	四里	百四十五
小細	一里	百四十五
山田	一里	百四十五

○おあそ村。小やふら。め川板橋又十五名。  
 田中村。うねり村。のえつ。板橋又十五名。

○清水村。大谷系や者上り下り坂あり

石茶師分 二里 廿二又 向や 庄を系  
廿二又 十又

○下茶師堂あり者須  
高富山西福うへ此茶師八人白皇四十  
二代文武天皇乃涉や大徳池森池  
亦河遊りし小中より岩崎うへやれ一と  
あゆのてつれをさうめふより岩うへは  
十二神あるでせり是穀多し是乃金割  
室ると同くあことそ茶師をさうめし  
具天佛らうとそ縁起小あり。うかこ西  
○高文川。庄北川を流るる川の流る

石茶師分 二里 八十又  
りめ山へ 二里 五十又 向や 十又  
トリ八十又又五十又 四十又

○はあうてやさ系小き佛ありくうる家把  
○くし海系。中さうと系やあり。あともいふじ  
乃社あり。泉川より橋七十有。泉村。そ村  
○海系あり村。海分村橋ありありあり。社あり

二里。白子二里半。わし村坂あり。トと入  
我系や所とあり

龜山分 一里半 六十又  
下り六十又又五十又 四十又

あし城あり城さる川日向吉夜又万石あり  
あり。那村。のぞき系やあり。那鹿のんこ  
系や系あり。あし村へり坂あり。大分  
ちまうん十八所あり河川にあり。あし村の  
と御師十七所あり。小那村橋あり。た  
城あり。あし系系は系系より系系  
あし村と是分山回を十回甲半

せまこ 二里 切か 系系 二里  
系系 二里 那系 二里  
系系 二里 系系 二里  
系系 二里 系系 二里

松坂 系系 四里 系系 二里  
系系 系系 系系 系系

園分 二里半 六十又  
坂乃下へ 二里半 六十又  
下り七十又七十又 四十又

道

四三

いむじりしのもより此國の徳ある地は  
 とんと昔いよいのあさりの霞みの  
 ふんの園いせのさざりけんとく三圃ありし  
 と其国より此國東と云ふは坂  
 多し。其例は此書にあり其の他は  
 傳へて空の地さうと云ふも一其國の  
 時宗や一の体あられし人水のとの圃  
 賜てれとては一体ぢさう不向いあや  
 らさうあつといつて世々おどろくは世々  
 目わしめぢさうと人立さうぶづんで  
 あつけりあつあつ甲子方さふりり又お  
 乃物を匂の軍解れん地を  
 乙子か—甲子さうはささばさける  
 いあゆみのいげんいさうあびし無智の  
 傳の舟船さうさうさうたりとせん  
 中しけれ甲子先おさう成一休と遊け  
 さまかして遊つておどろいさういあ  
 ついあつぬいふんとさう甲子今後  
 一是地さうのありさうけつと云やあ  
 甲子のありさういさういさういさう

ありさういさういさういさういさう  
 〇是より大坂いさうと遊とて四りさう  
 あまの地。いさういさういさういさういさう  
 小倉大和のいさういさういさういさういさう  
 大坂あつては山は松ありさういさういさういさう  
 さういさういさういさういさういさういさう  
 うの村さういさういさういさういさういさう  
 としとさういさういさういさういさういさう

坂の下  
 二  
 乙  
 下

二百廿五  
 孫九  
 百廿五  
 孫九

〇坂のいさういさういさういさういさう  
 坂の方いさういさういさういさういさう  
 坂いさういさういさういさういさういさう  
 〇元坂村いさういさういさういさういさう  
 けさ坂いさういさういさういさういさう  
 は坂村いさういさういさういさういさう  
 坂いさういさういさういさういさういさう

みらびきさきさき... 又坂の上乃田村丸は山の鬼と  
あつて... 坂の寺は田村丸の織院と教の...  
村堂あり... 海と... 山の中... 松二か...  
... 坂の上乃田村丸の織院と教の...  
... 山の中... 松二か...  
... 坂の上乃田村丸の織院と教の...  
... 山の中... 松二か...

... 田村川... 川を... 松二か...  
... 田村川... 川を... 松二か...  
... 田村川... 川を... 松二か...  
... 田村川... 川を... 松二か...

... 田村川... 川を... 松二か...  
... 田村川... 川を... 松二か...  
... 田村川... 川を... 松二か...  
... 田村川... 川を... 松二か...

... 田村川... 川を... 松二か...  
... 田村川... 川を... 松二か...  
... 田村川... 川を... 松二か...  
... 田村川... 川を... 松二か...

有太い大屋の状多し  
 若甲斐の二所と云者大蛇と御と云  
 大りう幸乃強起まのりく  
 以之勝も。三場と村八歳文也。心と三村  
 泉村。よとこ川系後三所と云くく  
 馬。泉系つてせん一山あり。田川村系や  
 五と云うこ三院同や者。星川。三雲村。  
 よくか村弘法を退け乃枚者。かつて村  
 へんり村。平松村。くくくくか村

**石部** 三里 百四十文 是れ  
 八十九又阿々小右  
 下り百四又のり又 六十九文 五内

あり。古郡村といぢらうる。藤々村。木の  
 亦系やらば者和中古あり。小郡村。ひま  
 村者流ありとの地也。ひまの村者と云ふは  
 あり。は其長人乃ありと云ふ事と云く  
 へ女の殿れと云ふと云く。よりしおせぬ  
 てより一ツ者、ゆん木の殿と云う。いふあり  
 一は依鏡者。あると云松と云松と云松と  
 んはやへありと云。中り村といふま  
 りり川にやあると云。川あり大ありれ  
 だつてありと云。遠流と云。川つて村と  
 盛村。目川村。星村。大坂。藤里。まはれの  
 くらつてあり。村者入りのあり

**栗** 三ノ木 百五十文 八  
 下り百六十又と云 八十七又 百八十九又  
 下り百六十又と云 八十七又 百八十九又

ちの芳明社あり立木の社と云。春月といは  
 正二位。今もあると云。おとくはと云。おと  
 あり。矢搦おとくはと云。おとくはと云。おと  
 あり。おとくはと云。おとくはと云。おとくはと云。おと  
 池あり。大あり川。おとくはと云。おとくはと云。おとくはと云。おと  
 池あり。大あり川。おとくはと云。おとくはと云。おとくはと云。おと





三條 大橋



國より迎へておぼろの境にありあつて  
一よりなるを伊乃茶師あり竹葉の  
用養のよりやけつらり。又若くをり井  
々南あり。ひうちがた。追をた乃り  
伊人(物)あり。横本石橋あり小園越  
とて二井あり下よりいふ出るあり。十  
神。六地蔵。徳田の神社あり。あま  
お命をせんせあり。そのさへは流河

おぼろ坂よりいふく  
園乃小川に於てあり  
波經の方よりい  
お井の空の小川を  
いせり若乃いふ  
りみらちほし。おと  
んの山に流るれい  
ていへるお坂の南の  
おをりあり。あつて  
おふりたる又山殿の  
おもりのさかおといふ  
お坂のさへお坂あり

門堂の路あり。た方に護國寺といふ日  
蓮宗の侯ありいそた乃方お清あ  
の下よりある谷越えゆく出西あり  
ありは道で甚集滅道といふ。菽  
乃下いそとくふ科あり小科八郷あり  
。湯廣野あり後村といふ村あり天智天  
皇に湯後あり天智天皇十年十二月三日  
帝はるおせりてお湯(た)て林の中へ  
くくらしむいひいづくさかんはくさくと  
あつて只湯橋乃ありして後ありあり  
あり。四宮河原仁明天皇身四乃  
皇子人康親といふ最れ旧物あり今も  
あり神くといふおけをれ。日の宮坂  
あり田乃園といふ中あり元徳の中あり  
檜岡といふり足下りこ方栗田といふり  
。松坂目の名より栗田といふ坂也。養正  
けあせ乃水たの方あり。栗田のありあり  
は地をいふ都とて治政とのありい。たの  
あり。素言社あり。栗田の志願より  
系(乃)ありたふ栗田に天皇社。青き

院門跡あり四方山より小將軍塚あり乃より  
 八尺くまのたの方より南禅寺黒谷まめ堂  
 吉田白川乃方よりゆき道あり。白川橋  
 米川白川より出る也橋まきま南乃方  
 へゆき乃知恩院まきま清水まきまあり  
 日所家乃うらうら乃中江梅の式社あり。知  
 恩院の法務と人遷化し給ふ寺と今日光  
 大師と中江寺と宗四ヶのちまきと寺あり  
 名所後真者殿い今まの乃乃ゆきりしと  
 つ。まきまの所。三條ありまの乃乃ゆきりしと  
 たり東江法勝ちたの中和当宗まきまあり。  
 日所瑞雲寺白表派入石塔まきまありま  
 二条沙城まきま又西橋まきま若神河原下  
 賀茂丸の四条五條乃橋被里まきまあり  
 乃所大併今まの乃東神まきまありま  
 ゆき。三條大橋と小橋乃乃旅人の中まきま  
 此道。西より川まきま三條ゆきまきま又  
 又東橋の海まきまあり。新雲形まきま  
 乃所京教師九酒所横小橋のまきままきま  
 まきまありまきま

諸國道中獨案内

日光乃中子位

奥羽の道

外板橋王子通りあり

一日本橋二リ

千代二七

一日本橋二リ

あがえ二七

千代二七

かすま二七

千代二七

かすま二七

千代二七

かすま二七

千代二七

かすま二七

千代二七

かすま二七

千代二七

かすま二七

千代二七

かすま二七

千代二七

かすま二七

千代二七

かすま二七

千代二七

道

道

石井 一リ半  
 菅乃文 二リ半  
 宇都宮 一リ  
 孫 以 一リ半  
 徳 三 二リ半  
 大 津 二リ  
 今 市 二リ  
 日光 五  
 涉 宮 八 十 町

常別水之乃

日本橋 二リ  
 小 金 二リ  
 松 戸 二リ  
 小 金 二リ  
 あ じ こ 一リ  
 け 石 田 園 不 承 後 乃

一 燈 本 二 七 十 又  
 一 石 田 一 六 十 又  
 一 小 山 一 四 十 又  
 一 小 金 井 一 四 十 又  
 一 石 橋 一 七 十 又  
 一 菅 乃 文 一 四 十 又  
 一 宇 都 宮 一 七 十 又  
 一 孫 以 一 十 又  
 一 徳 三 一 十 又  
 一 大 津 一 十 又  
 一 今 市 一 十 又  
 一 日光 一 十 又  
 一 涉 宮 一 十 又

水 戸 一 十 又  
 鹿 嶋 一 十 又  
 三 十 六 里

一 鹿 嶋 一 十 又  
 一 三 十 六 里  
 一 水 戸 一 十 又  
 一 鹿 嶋 一 十 又  
 一 三 十 六 里

江戸日本橋  
 鹿嶋三十三里  
 三十六里

一 鹿 嶋 一 十 又  
 一 三 十 六 里

甲別道中記

新 富士系湯乃種  
湯延乃形跡

月本物方 三三

下本井夫 百四十五  
かたえ 百四十五  
くろ尾 百又  
人足 七十四又

四ツ舌大布 七又  
新着の末 追分

湯まきくはゆへ秋  
笑乃之甲別へたへ  
ゆへは名のり次を

上十五月下十五又  
あつと又ふたの場

下本井夫 上高井夫  
又布由 上下二本  
は乃湯乃形跡

又名系も上下二本  
のりち 進十月始り

又ハナアノ多りお  
ち次りあつと

下本井夫 二リ所  
布 田へ 又五十五又

田へ 一リ所  
中へ 七十五又 四十五又  
三十五又

府中へ 二リ所  
九十五又 六十五又  
四十五又

は若川あはも川と  
りふあははちあらん  
あははちあはちあ水  
あはちあはちあ

月本物方 二リ所  
八十五又 七十五又  
四十五又

八十五又 七十五又  
四十五又

八十五又 七十五又  
四十五又

かきさ 二リ所 四十五又

は乃川 二リ所 六十五又

山川 十所 十五又

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十

いり平地なり

いり子横山 一七所

いり本庄 一七所

いりたのふ小高を

いりあや

いり市野方 一七所

いり小御へ 一七所

いり通リも入

いり小御へ 一七所

いり小系へ 一七所

いりみま

いりみま

いり小原へ 一七所

いり小原へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

いり小系へ 一七所

新川が 一り六所  
のこ鹿へ 一り六所

又た又 三ヶ又  
九ヶ又

比呂の山越承まの云

野田尻が 三ヶ所  
大目分

四十ヶ又 廿又

比呂の山越承まの云

又た又 三ヶ又  
九ヶ又

大目分  
上巻へ 一り三所

七ヶ又 五ヶ又

比呂の山越承まの云

又た又 三ヶ又  
九ヶ又

上巻へ 九ヶ所  
さる橋へ

四ヶ又 九ヶ又

さる橋へ 廿二所

廿二所

さる橋へ 廿二所

廿二所

大月へ 十六所

十六所

大月へ 十六所

十六所

大月へ 十六所

十六所

大月へ 十六所

十六所

大月へ 十六所

十六所

大月へ 十六所

十六所

大月へ 十六所

十六所

一 松島 二り 六ヶ又  
十所 又 十ヶ又

一 新所 九ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 下ノ島 三ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 三本木 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 柳川 三ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

一 水ノ名 一ヶ又 十ヶ又  
十ヶ又 十ヶ又

富士山へ道

加刺金山道中

大月台 二リ

信濃道台と云ふ本名  
乃中一おわらぬ人隠之

はるの田の影は月市  
場池邊の影あり  
大月を渡り又橋の  
矢村を渡る

一石の三リ 百廿五文  
一石の三リ 九十二文

やむらう台 一リ半  
おのすへ 一リ半  
おのすへ 一リ半  
上り四へ 一リ半  
へは下り一田と  
いふなり

一上田三リ 百廿九文  
一上田三リ 八十九文  
一さう本三リ 百廿九文  
一さう本三リ 八十九文  
ひろひろ井やとて乃  
二色五たの方

下初め台 一リ又断  
下初めへ 一リ又断  
下初めへ 一リ又断  
下初めへ 一リ又断  
白砂へ 一リ又断

一丹を橋三リ又十七文  
一丹を橋三リ又十七文  
一丹を橋三リ又十七文  
一丹を橋三リ又十七文  
一丹を橋三リ又十七文

白砂台 一リ  
黒野田台 一リ半  
黒野田へ 一リ半  
黒野田へ 一リ半  
黒野田へ 一リ半

一ひろ  
一ひろ  
一ひろ  
一ひろ  
一ひろ

猪沢台 一リ三断  
猪沢へ 一リ三断  
猪沢へ 一リ三断  
猪沢へ 一リ三断  
猪沢へ 一リ三断

一ひろ  
一ひろ  
一ひろ  
一ひろ  
一ひろ

勝沼台 二リ十七断  
勝沼へ 二リ十七断  
勝沼へ 二リ十七断  
勝沼へ 二リ十七断  
勝沼へ 二リ十七断

一ひろ  
一ひろ  
一ひろ  
一ひろ  
一ひろ

石和台 一リ十九断  
石和へ 一リ十九断  
石和へ 一リ十九断  
石和へ 一リ十九断  
石和へ 一リ十九断

一ひろ  
一ひろ  
一ひろ  
一ひろ  
一ひろ

甲府へ 一リ十九断  
甲府へ 一リ十九断  
甲府へ 一リ十九断  
甲府へ 一リ十九断  
甲府へ 一リ十九断

一ひろ  
一ひろ  
一ひろ  
一ひろ  
一ひろ



七十二文 四十八文  
卅六文

石和より  
舟延へり

石和へ  
スリ

下舟へ  
スリ

舟本井へ  
スリ

舟本井へ  
スリ

舟本井へ  
スリ

舟本井へ  
スリ

田舎尾羽宮村

一府中 三里半

一舟後 四里

一たへ原 三里半

一ぼと木 三里半

一金沢 二里

一上の郷 三里

一高を 二里

一いお 二里

一宮田 三里半

一飯田 三里

一舟ん 三里

一浪合 三里

一舟屋 三里

一舟橋や 三里

一舟せら 二里

一舟の二里半 九十七文  
六十七文

舟田中舟田舟泉  
川型ありの舟六の舟

一高田川 三十二文  
三十二文

一舟屋川 九十九文  
六十六文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

一舟の川 百八文  
七十七文

舟

一 高きりて三里

一 いりぬ 三里

一 幸 針 二里

一 宮

尾 越前福井道

一 やりきあこるり

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 高きりて三里

一 いりぬ 三里

一 幸 針 二里

一 宮

尾 越前福井道

一 やりきあこるり

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

一 三 里 半 八 里 半

道

道



十八丁ありふざざん  
十又町ありのみり

河内ふん嶽のさうのこ  
芝のさや○んざん

世ありて人足とほぐ  
○いごふあれさ一り

○ひの上○上落○下傳  
○さうの川の今やさや

物方 大坂へ  
又里

○松かろか○ちや○なま  
○一又村○つなつち○お

口はあうて人多とつぐ  
ひ村の子中人つのおの

さうへ・場所の○代  
○いご○茶ん

紀別あふ中 大坂

大坂三リ場一リ

石浮三リ家福

街城ありてふるまふ法  
ちかみ万二千を

さしれいごを見つるふり  
具隊はうにせ市一リ

お松井前志三リ

ひりり字三リ

和分山 はる小川あり  
たのせおぼ

高野山 たけの

大坂三リ場一リ

三目市新本一リ

鶴一リりむる一リ

○又市がなる

めん堂一リ奥の院

さしれいごを見つるふり  
具隊はうにせ市一リ

若野 わかの

檜本 ひの本

高屋 たかや

西河八日川 西河八日川

かき かき

三ツ石 みつし

三ツ石 みつし

うね うね

はる一リ はる

又丁 また

か か

三ツ石 みつし

はる はる

片上 かたじ

は は

坂井 さかい

岡山 おかやま

是 こゝ

は は

板倉 いたくら

は は

川 かわ

矢 や

は は

く く

川 かわ

市 し

高屋 たかや

高屋 たかや

下やうりむごり

上流はる川の

上流はる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

なまのはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

所がはる川の

みまにニリたんを市リ

あはのうてしよし。産

かひどたりあしニリ

徳分ふんのもあしへ

くさり赤みり大坂

カニリ

いせ山田へはなまきえ

北日赤ん

大坂ニリ加色ニリ

ニリ

いそ田舎ニ形有かも

いそ田舎のまごふり

かこさこりま

くま

大河系ニ形有系リ

いそ田舎のまごふり

うへ砂ニリ

くま

山田

くま

月のりま松坂四リ

くま

大坂長瀬の形

くま

大坂若庫へ十重

くま

若庫あし入みり

くま

明石むらへうは向

くま

室大さへみり

くま

大さ城しむ入みり

くま

くしほくひへセリ

くま

はるせうつ徳太しぬ

くま

やくり徳八徳ま松の

くま

城もりまき徳もえ

くま

いり

くま

いり

くま

いり

くま

白石

くま

船 けいへ 五リ

いけ 三つ 十リ

三つ 五リ

かまろ 三つ 五リ

ぼまろ 三つ 五リ

うひろ 上の段へ 七リ

上乃園 五リ

ひろ子 五リ

かご 七リ

むろ 五リ

新 十三リ

下の園 三リ

大 二リ

小倉 二リ

おろ 二リ

福 二リ

小 二リ

あ 二リ

赤 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

あ 二リ

お 二リ

青柳 三三九所

新橋 三三九所

横濱 一三三所

はる町はさき橋  
一ツつゞく橋

黒橋 二二九所

赤坂 四三三所

つぼ 四三三所

はる町はさき橋  
榊川 二二九所

乃木 二二九所

四野 二二九所

山上 二二九所

系田 二二九所

下の川

新橋

かろはら

うしろ

はる町

はる町

はる町

はる町

はる町

はる町

はる町

はる町

はる町

小倉

道多

ひら

黒橋

赤坂

乃木

四野

山上

原田

田代

八所

小倉

はる町

海老

はる町

河原

はる町

はる町

はる町

はる町

はる町

はる町

はる町

はる町

はる町



とくはゆりなり

小松 松原 松原 松原

小松 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

松原 松原 松原 松原

はる一り十代町以上

坂一りい下り坂あり

ハ丁峠とやゆわ

南小海見ゆ

秋月 松原へニリ

はる小川二町あり

松原川流あり

後乃ゆいあり

松原 松原へ

はる川あり

松原 松原へ

はる川あり

松原 松原へ

はる川あり

松原 松原へ

はる川あり

松原 松原へ

はる川あり

松原 松原へ

はる川あり

松原 松原へ

はる川あり

松原 松原へ

はる川あり

松原 松原へ

はる川あり

松原 松原へ

はる川あり

松原 松原へ

はる川あり

白田 なかくへ 三十三里  
十七丁

みどり 代川 三十三里  
十七丁

横井 とせ 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

小坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 中の橋 三十三里  
十七丁

下小大坂 より 三十三里  
十七丁

小坂 より 三十三里  
十七丁

又 みなと 三十三里  
十七丁

方 以 三十三里  
十七丁

松原 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

大坂 より 三十三里  
十七丁

さか 牛津 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

あ り 三十三里  
十七丁

牛津 小田 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

小田 より 三十三里  
十七丁

お の 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

い る 三十三里  
十七丁

東白 牟禮 二里

七十安又之文世又

後舟 四里

百八十五又百七十五

尾崎 三里

百七十五又八十七又

合 津崎 四里

守江 四里

高西 松戸 寺堂

松戸 小倉 寺堂

小金 あびこ 寺堂

あびこ 寺堂 二里

紫原 寺堂

府川 寺堂

廣崎 寺堂

息栖 寺堂

右諸國道中記

相改令再松考也

天明四甲辰 采

三月吉辰

江都 芝神明前 奥村喜兵衛 藏

吉文字屋次郎共衛 版

書林 同所 前川六九衛門 版

矢上 日見 一里

日見 寺堂

日見 寺堂

長崎 寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

寺堂

三石家藏

429535